

## 蝉しぐれ (2005)

メディア 映画  
ジャンル 時代劇 ドラマ  
製作国 日本  
色彩 Color  
時間 131分  
初公開日 2005/10/01  
公開情報 東宝

## 【キャッチコピー】

20年、人を想いつづけたことはありますか。

## 【解説】

藩内の権力闘争に翻弄される男女の切ない悲恋を描く本格時代劇。不当な汚名に耐え、ようやく家の復権がかなった青年藩士が、かつて淡い初恋を育んだ幼なじみと皮肉な再会を果たし、新たに巻き起こる派閥抗争の渦の中で、藩に仕える武士としての宿命を背負い非情な運命に立ち向かう姿を四季折々の美しい映像と共に綴る。藤沢周平の傑作小説を、15年来熱望してきた企画という黒土三男監督が、2003年のTV版の脚本に続き、今度は自ら監督も手掛けて悲願の映画化。主演は市川染五郎と木村佳乃。

江戸時代、東北の小藩“海坂藩”。15歳の文四郎は下級武士である義父・助左衛門のもと、親友たちと剣術や学問に励む毎日。一方、隣家に住む幼なじみのふくとも淡い恋心を育んでいく。そして、文四郎が尊敬する父のようになりたいと思い始めた矢先、その助左衛門が世継ぎを巡る陰謀に巻き込まれ、切腹を命じられてしまう。それを境に、罪人の子として辛苦の日々を過ごす文四郎。そんな彼に唯一変わらぬ態度で接してくれたのは親友の逸平と、ふくだけであった。しかし、ふくはほどなくして江戸の屋敷で奉公するため旅立ってしまう。それから数年後、青年になった文四郎に筆頭家老から牧家の名誉回復が告げられるのだったが…。

## 【クレジット】

監督 黒土三男  
製作 俣木盾夫  
エグゼクティブプロデューサー 遠谷信幸  
プロデューサー 中沢敏明  
宇生雅明  
共同プロデューサー 千野毅彦  
協力プロデューサー 田中渉  
柴田一成  
原作 藤沢周平  
脚本 黒土三男  
撮影監督 戸澤潤一  
撮影 釘宮慎治  
美術監督 櫻木晶  
衣装 林田晴夫  
編集 奥田浩史  
音楽 岩代太郎  
製作統括 森隆一  
島谷能成

『蝉しぐれ』（文春文庫刊）

照明  
録音  
助監督  
出演

吉角荘介	牧文四郎
橋本泰夫	心く
森宏治	小和田逸平
市川染五郎	島崎与之助
木村佳乃	登世
ふかわりょう	牧助左衛門
今田耕司	小柳甚兵衛
原田美枝子	ます
緒形拳	矢田作之丞
小倉久寛	石栗弥左衛門
根本りつ子	相羽惣六
山下徹大	おとら
利重剛	淑江
矢島健一	尾形
渡辺えり子	藤次郎
原沙知絵	権六
鷹赤兒	関口晋助
田村亮	青木孫蔵
三谷昇	犬飼兵馬
大滝秀治	磯貝主計
大地康雄	里村左内
緒形幹太	文四郎（子供時代）
柄本明	心く（子供時代）
加藤武	逸平（子供時代）
石田卓也	与之助（子供時代）
佐津川愛美	
久野雅弘	
岩渕幸弘	